

I 学校評価の結果を受けた組織的取組

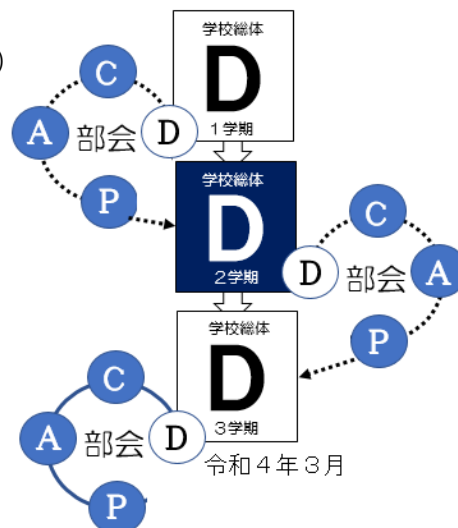
1 「関わり合う力」部会の提案した具体的対策

(1) 1学期評価後

- ① 外部からの講師や地域人材の活用を図る。
- ② 学校ボランティアの活用を図る。
- ③ 教員も地域のことを調べ、教材研究をする。

(2) 2学期評価後

- ① 家庭への啓発を増やす。(通信、HP、個別面接)
ア 保護者に伝わりやすい言葉(表現)の選択
- ② 子どもの意識を高める取組を実施する。
ア チェックリスト、強化月間、学級リーダー
- ③ 授業参観・フリー参観日に家庭教育講演会実施



2 「自ら学ぶ力」部会の提案した具体的対策

(1) 1学期評価後

- ① 図書館担当から担任への声かけを増やす。
- ② 読書旬間の内容の見直しを行う。
- ③ 図書委員会の活動の広報強化を図る。
- ④ 各学年のおすすめの本(関連図書)の教室化

(2) 2学期評価後

- ① 実態把握(学年や個に応じた内容、量かどうか部会で調査実施)と改善
- ② 学力調査等の問題活用、あしあとの残る家庭学習カードの作成
- ③ 自主学習の意義の周知と「自学のすすめ」の効果的活用、子どもと
- ④ 子どもと共に学習プラン立案(自分事としての家庭学習の基盤づくり)

3 「やりぬく力」部会の提案した具体的対策

(1) 1学期評価後

- ① 教員が研修等で指導のスキルを学ぶ。
- ② 授業中の教師の関わり方を工夫する。
- ③ 常に目標を意識させる環境づくりを行う。

(2) 2学期評価後

① 健康衛生面

- ア ハンカチの確実な所持と使用
- イ マスク着用(交換)の徹底

② 食に関する指導

- ア 食事のマナー指導(給食の時間等)、栄養教諭等との連携
- イ 給食旬間を柱とした指導の充実、食育の推進

※ 担任及び担任外からの声かけ + 給食、保健員会の自主的取組の推進